

2026年4月13日

各位

会社名 旭化学工業株式会社  
代表者名 代表取締役社長 杉浦 武  
(コード 7928)  
問合せ先 総務部部长 松尾 陽介  
(TEL 0566-92-4181)

## 2026年8月期第2四半期(中間期)業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2025年10月14日に公表いたしました2026年8月期第2四半期(中間期)及び通期の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

2026年8月期第2四半期(中間期)連結業績予想数値と実績値の差異(2025年9月1日~2026年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想(A)	百万円 4,100	百万円 35	百万円 60	百万円 30	円銭 9.59
実績値(B)	4,542	57	94	32	10.58
増減額(B-A)	442	22	34	2	
増減率(%)	10.8	62.9	56.7	6.7	
(ご参考)前期中間期 実績(2025年8月期 第2四半期)	4,477	△36	49	5	1.78

2026年8月期通期連結業績予想数値の修正(2025年9月1日~2026年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 7,850	百万円 40	百万円 110	百万円 50	円銭 15.99
今回修正予想(B)	8,500	70	130	50	16.11
増減額(B-A)	650	30	20	0	
増減率(%)	8.3	75.0	18.2	0.0	
(ご参考)前期実績 (2025年8月期)	8,359	△45	113	47	15.07

### 1. 2026年8月期第2四半期(中間期)連結業績予想数値と実績値の差異について

売上高につきましては、為替が円安に推移したことにより、円換算額が増加し、前年同期比1.5%増の45億42百万円となりました。

日本は、売上高については、電動工具部品は増加、自動車部品は新製品の出荷が2025

年9月より開始いたしました。2025年11月に同モデル従来製品の量産出荷を終了しております。当該新製品の売上単価は従来製品を下回り自動車部品の売上高は減少いたしました。結果として売上高は17億64百万円（前年同期比4.6%減）となりました。

中国工場は、売上高については、電動工具部品は前期同等の推移でありました。為替が予想レートより円安に推移した影響（2億35百万円）により増加23億28百万円（前年同期比4.1%増）となりました。

タイ工場は、売上高については、電動工具部品が増加、為替が予想レートより円安に推移した影響（69百万円）もあり増加5億14百万円（前年同期比16.8%増）となりました。

利益につきましては、為替が円安に推移した影響により中国工場の収益が増加し各利益は予想を上回りました。

## 2. 2026年8月期通期連結業績予想数値の修正について

通期の予想につきましては、継続して為替が円安で推移する前提のもと当初予算より増収増益となる見込みです。

利益改善の取組として、工程改善活動に取り組んでおります。ロボット導入による自動化、不良率低減に向けた品質改善活動を実施し、サイクルタイムの短縮と製造原価削減を図っております。

以 上